

**仕様概要** FusionMaker シリーズは素材と用途に合わせてテーブルサイズ、深さ、発信器の出力を選択できます。

レーザー機本体	FusionMaker 12	FusionMaker 24	FusionMaker 36
最大加工範囲	610 x 305mm	610 x 610mm	914 x 610mm
最大材料厚み	178mm	254mm	254mm
レーザー発振器	空冷式金属封入型Co2	空冷式金属封入型Co2	空冷式金属封入型Co2
レーザー出力	30W 40W	40W	40W 50W
標準機能	外部配管されるアシストエアコンプレッサの自動開閉バルブ 配置素材を読み込み彫刻位置の確認ができるオーバーヘッドカメラ 排気ポート 12/24サイズには102 mmの排気ポート400CFM 36サイズには2つの102 mm排気ポートで合計800CFM 真空テーブルポート テーブルを通る専用排気用の102 mm追加ポート 各種加工に最適化されたラスター、ベクター、および結合モード Epilog Laser Software Suite:レーザーダッシュボードおよびEpilog Job Manager 最大1 GBの複数のファイル。任意のファイルを選択リピートできます 高速ステッピングモータ ステンレス研磨ガイドにテフロンコート自己潤滑ベアリングをデュアル配置 クラス2レーザー製品- 1 mW CW最大600 - 700 nm 高精度Bスタイルケブラーベルト 75~1200 dpiからユーザー設定 0.001単位のコンピューター制御 10Base-Tイーサネット、USB、またはワイヤレス接続。Windows 7/8/10互換		
動作モード			
制御ソフト			
メモリバッファ			
駆動モータ			
X軸ベアリング			
安全性			
駆動ベルト			
駆動解像度			
位置分解能			
インターフェイス			
本体サイズ(mm)	1003 x 673 x 455mm	1055 x 834 x 967mm	1359 x 834 x 967mm
本体重量	63kg	102kg	117kg
電源	単相120Vまたは240ボルト、50または60 Hz (国内電源は基盤保護のため昇圧する必要があります)		

**オプション機器**

<p><b>強制排気ブロー</b></p>  <p>樹脂や木材を加工する際に発生する煙と塵埃は機内に滞留しないように静圧ブローで吸い出す必要があります。排気を屋内などに出す場合はさらにフィルターと活性炭によって脱臭することで作業環境を改善します。レーザー本体の大きさと仕事量に応じて各種サイズが用意されています。</p>	<p><b>活性炭脱臭ボックス</b></p> 	<p><b>活性炭入り脱臭集塵装置</b></p> 	<p><b>カットング用ピンテーブル</b></p>  <p>アクリル樹脂などを切り抜いたエッジに残るハニカムの目痕が気になる場合は写真の様なオールステンレス製のピンテーブルをご用意しております。ワークサイズに応じて必要なサイズをお申し付けください。</p>	<p><b>3D彫刻用ソフトウェア</b></p>  <p>三次元CADやCGで作ったモデルおよび3Dスキャナで取り込んだ3Dデータは、高低差をグレースケールの濃淡に変換してレーザーに出力できる彫刻ソフトの極楽彫Premium10が大変便利です。従来の彫刻機と併用することもできるので、複合加工で高付加価値の製品作りに威力を発揮します。</p>
--	---	---	---	---

ショールームのご案内 営業時間 9:30~17:30 (土日祝日を除く)

<p>■東京ショールーム</p> <p>JR山手線 神田駅南口 歩7分                  日比谷線小伝馬町駅 歩4分                  JR総武本線 新日本橋駅 歩5分</p> 	<p>■広島ショールーム</p> <p>JR広島駅 歩10分</p> 
--	--

東京都千代田区岩本町1-2-9 TLビル 03-3851-4048 FAX03-3851-4037

広島市南区松川町3-29 珠寶ビル 082-262-1931 FAX082-263-0968

メールでのお問い合わせ、資料請求は [info@tecnologic.co.jp](mailto:info@tecnologic.co.jp)

価格表のダウンロード、動画の再生は <http://www.tecnologic.co.jp>

株式会社 

株式会社 

**Epilog Laser**

# FusionMaker

## 12/24/36

ニーズから生まれたコスパ<sup>®</sup>技群のマシン

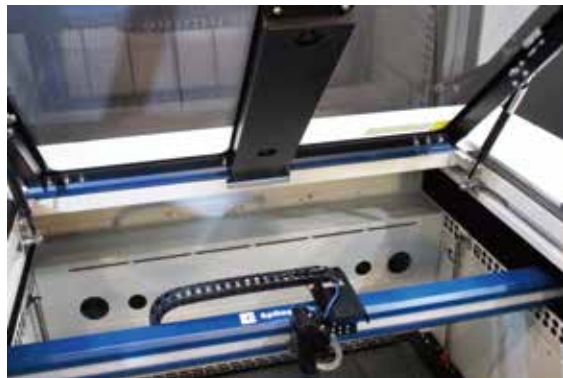
**位置決め用全面撮像カメラを標準で搭載**



**MADE IN USA**



### 位置決め用撮像カメラ



本体カバーに取り付けられたオーバーヘッドカメラは、広角レンズでテーブル全面を隅々まで確実に捉えます。撮影画像はリアルタイムで本体からパソコンのジョブマネージャに転送されます。

### 画像取り込みで位置決め編集



ジョブマネージャでは画面上の撮影画像から材料面に彫刻データを投影して確認しながら加工位置を正確に調整することが出来ます。これにより端材の切り残し部位を有効に利用したり、印刷の位置合わせが容易になります。

### 自社開発のメタル封入発振管



EPILOGが独自に開発し、自社工場で製造、補修完成検査まで行っているオールメタルの発振管は、クイック励起制御の基盤回路を搭載しながら低いランニングコストと高いビーム品質を実現して、ガラス封入発振管とは比較にならない程の長寿命を特長としています。

### ジョブマネージャ



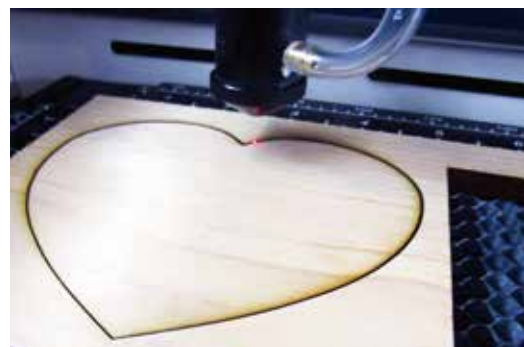
加工領域の画像は超広角で撮影されますが遠近のたわみや歪みまで正確に補正してネットワークに提供するため、目視に影響を与えません。従来のドライバ直結式からは格段に作業性を向上させたジョブマネージャが、生産効率と失敗のない確実性を高めます。

### 専用設計のタッチパネルスイッチ



ジョブの選択、レーザーの自動焦点合わせなどの操作を直感的に行えるタッチパネルは、スクリーン上のボタンをスマホのように指で軽く触れるだけで選択と実行が的確に行えます。

### アシストエアとコーンノーズ



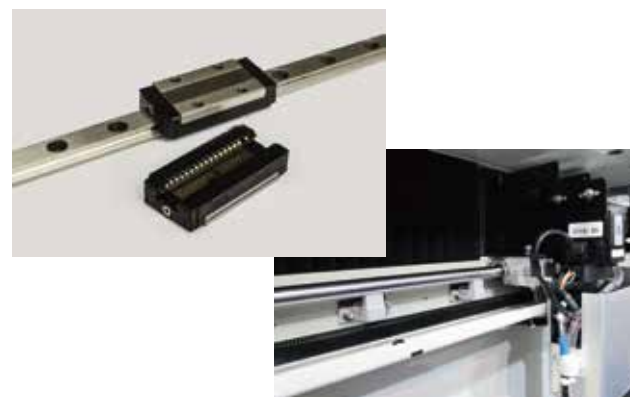
エアアシストは、切断面から熱と引火性のガスを取り除き、よりきれいな切断を実現します。本体に配管されて自動開閉制御されるコンプレッサから伝わった圧縮空気が、コーンノーズを通して加工面に正確かつ垂直に噴射されるため、仕上がりの良さは格段に向上します。

### 5G アクセラレータで高速彫刻



Fusion Edgeは最高120 IPSのXY制御と5Gの加速度を組み合わせる事で、圧倒的な彫刻速度を実現しています。その結果は広い範囲の加工を行う時にこそ時間差となってはっきり現れます。

### XY軸に固有の制御軸を採用



X軸にダブルブロック構造のリニアガイド、Y軸に強化リニアブッシュを採用することで、軽量ヘッドには避けられない「ぐらつき」や「遊び」を徹底的に排除しています。樹脂製のベアリング等を採用した場合におこる頻繁な部品交換も必要とせず、長期間の剛性と完璧な振動抑制が維持される構造です。

### 手軽で簡単なロータリーユニット



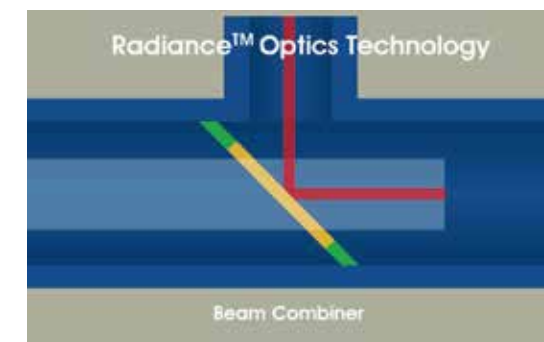
リムスタイルの回転アタッチメントは、ボトル、ガラス、懐中電灯、またはその他の円筒形の素材に全周彫刻するオプションユニットです。このロータリーユニットは、ゴムローラーの上に製品を載せて、アジャスタハンドルで傾斜を調整することで彫刻領域面の水平を作り出しまるで平面と同じ感覚で彫刻を可能にします。

### 駆動系をヤニから守る密閉構造



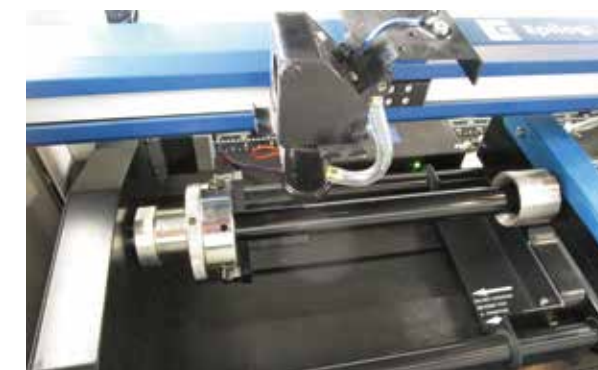
X軸アームの両サイドは蛇腹型のカバーでシールドし、アームの内面には素早い往復動作に連動するベルトタイプのカバーを装備して駆動系に煙が回り込むのを遮断しています。ヘッド部分も完全にカバーされたレンズアッセンブリ構造を持ち、マシンの駆動系と光学系は高いレベルで密閉性を維持しています。

### Radiance® 光学系補正強化機能



レーザービームの真円度を高め、直進性と到達度を高めるエピログ独自の光学補正技術は、テーブル全体の仕上がりが均一になることを追求して生まれた先進技術です。

### 正確な回転彫刻には三つ爪チャック



三つ爪チャックのロータリーユニットは、筒状の素材だけでなく多角形や非円筒形の小さな素材などでも機械的にしっかり固定出来ます。彫刻で正確に位置決めする必要がある場合には最適なオプションです。